



2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月8日

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所 東
 コード番号 9438 URL https://ir.mti.co.jp
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏
 問合せ先責任者(役職名) 専務取締役 (氏名) 松本 博 (TEL) 03-5333-6323
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け(オンデマンド配信))
 (百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第1四半期の連結業績(2022年10月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	7,091	8.2	△61	—	△88	—	△590	—
2022年9月期第1四半期	6,551	3.9	451	△18.5	395	△20.2	252	14.7

(注) 包括利益 2023年9月期第1四半期 △639百万円(-%) 2022年9月期第1四半期 175百万円(20.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	△10.77	—
2022年9月期第1四半期	4.62	4.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	29,280	16,783	44.6
2022年9月期	29,265	17,877	48.1

(参考) 自己資本 2023年9月期第1四半期 13,056百万円 2022年9月期 14,065百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2023年9月期	—	—	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日~2023年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	12,700	△2.1	200	△66.6	0	△100.0	△740	—	△13.55
通期	26,000	△1.8	800	△8.1	400	△17.7	△600	—	△10.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年9月期1Q	61,263,000株	2022年9月期	61,263,000株
② 期末自己株式数	2023年9月期1Q	6,453,173株	2022年9月期	6,450,273株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年9月期1Q	54,810,804株	2022年9月期1Q	54,751,252株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

補足説明としての決算説明はオンデマンド配信形式とし、2023年2月9日(木)に説明動画および資料を当社ホームページへ掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2023年9月期 第1四半期の概況 (2022年10月1日～2022年12月31日)

当社グループは、中長期的な企業価値の向上を図るべく、今後の業績拡大が期待できるヘルスケア事業および学校DX事業に積極的に取り組んでいます。

連結業績における売上高は7,091百万円（前年同期比8.2%増）となり、売上総利益は売上原価の増加により4,552百万円（同2.2%減）となりました。

営業利益および経常利益については、販売費及び一般管理費（販管費）の増加により、それぞれ△61百万円（前年同期は451百万円）、△88百万円（前年同期は395百万円）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失については、2022年10月に連結子会社である母子モ株式会社の株式を連結子会社である株式会社エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングスに一部株式譲渡したことに伴い、その株式譲渡益に対する法人税関連の連結決算上の処理において現行の会計基準に照らし合わせ繰延税金資産および法人税等調整額の計上を見送ったこと等により、△590百万円（前年同期は252百万円）となりました。

連結業績(2022年10月1日～2022年12月31日)

	2023年9月期 第1四半期	2022年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	7,091	6,551	+539	+8.2
売上原価	2,538	1,895	+643	+34.0
売上総利益	4,552	4,656	△103	△2.2
販管費	4,613	4,204	+408	+9.7
営業利益（△は損失）	△61	451	△512	—
経常利益（△は損失）	△88	395	△484	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益（△は損失）	△590	252	△843	—

販管費内訳(2022年10月1日～2022年12月31日)

	2023年9月期 第1四半期	2022年9月期 第1四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	4,613	4,204	+408	+9.7
広告宣伝費	479	360	+118	+33.0
人件費	1,989	1,912	+76	+4.0
支払手数料	746	753	△6	△0.8
外注費	560	440	+120	+27.3
減価償却費	289	303	△13	△4.5
その他	549	435	+113	△26.0

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを変更しています。当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいています。

①コンテンツ事業

コンテンツ事業には、BtoC型の月額課金サービス（女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』と医師相談サービス『カラダメディカ』は除く）のほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供するオリジナルコミック事業が属しています。

同事業の有料会員数は318万人（2022年9月末比2万人減）とほぼ横ばいとなりました。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大が続いていることにより、同事業の有料会員数の純減幅は縮小傾向にあります。

売上高は、前年同期比で有料会員数が減少した一方、連結子会社の株式会社ビデオマーケットに

おける動画販売を主因に5,118百万円（前年同期比10.3%増）となりました。

営業利益については、『AdGuard』の入会促進に伴う広告宣伝費の増加に伴い販管費が増加したことにより、1,439百万円（同6.2%減）となりました。

②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、母子手帳アプリ等）が属しています。

同事業の月額有料会員数は58万人（2022年9月末比1万人減）となりました。また、調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大に注力し、2022年12月末の同店舗数は1,382（2022年9月末比118増）となりました。

売上高は、「クラウド薬歴」および子育てDX事業等の売上高が拡大したことにより1,011百万円（前年同期比11.3%増）となりました。営業損失については、先行投資費用負担が続いていますが、費用の抑制を実施したことから172百万円の損失（前年同期は336百万円の損失）となりました。

③学校DX事業

学校DX事業には、連結子会社のモチベーションワークス株式会社が学校法人向けに展開する学校DX事業が属しています。

売上高は、2022年4月にクラウド型校務支援システム『BLEND』を新規に導入した学校法人からの月額利用料が増加したことにより、155百万円（前年同期比178.5%増）となりました。営業損失については、売上高が大幅に増加しましたが、前期の下期よりソフトウェア資産計上を厳格運用したことに伴う外注費の増加により、246百万円の損失（前年同期は121百万円の損失）となりました。

④その他事業

その他事業には、BtoB型の連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、当社における大手法人向けDX支援事業やソリューション事業等が属しています。

売上高は1,190百万円（前年同期比5.6%減）となりました。営業損失については、大手法人向けDX支援事業での低採算案件への対応が続いていることに伴い売上原価が増加したことを主因とし、393百万円の損失（前年同期は36百万円の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期末の資産合計は29,280百万円となり、2022年9月末対比14百万円増加しました。

資産の部については、流動資産では主に現金及び預金が増加したことにより137百万円増加し、固定資産ではソフトウェアが増加した一方、のれん、顧客関連資産が減少したことを主因に122百万円減少しました。

負債の部については、流動負債では買掛金および未払法人税等が増加したことを主因に1,250百万円増加し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより141百万円減少しました。

純資産の部については、親会社株主に帰属する四半期純損失として590百万円を計上し、配当金の支払いもあり1,094百万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績拡大の牽引役として期待できるヘルスケア事業の売上拡大および赤字縮小に注力するとともに、コンテンツ事業ではセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数拡大やオリジナルコミック事業の拡大に取り組んでいきます。

また、当社子会社のモチベーションワークス株式会社にて積極展開する学校DX事業の拡大にも注力していきます。同社が提供するクラウド型校務支援システム『BLEND』に対する受注の引き合いが強いことから、体制強化のための人員増強や導入拡大に対応した外注先の活用、導入コストに寄与する『BLEND』のバージョンアップに向けた開発等で先行投資は当面続きますが、さらなる売上成長に繋げていきます。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施していきます。

特に調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」については、ヘルスケア事業の持続的な売上成長に寄与できることから、協業先である株式会社メディパルホールディングスとの連携強化を行うことを通じて、導入店舗数をさらに拡大させていきます。

また、母子手帳アプリ『母子モ』が導入されている自治体を中心に子育て関連サービスを拡充することにより、そして自治体、病院、住民のデジタル連携の実現を通じた子育てDX『母子モ』プラットフォーム戦略の推進を行うことにより、中期的に利益貢献できるように取り組んでいきます。

なお、2023年9月期第2四半期累計期間および通期の連結業績予想は、2022年11月9日に発表しました数値から変更はありません。

2023年9月期 第2四半期累計期間 連結業績予想 (2022年10月1日～2023年3月31日)

	(百万円)	前年同期比 (%)
売上高	12,700	△2.1
営業利益	200	△66.6
経常利益	0	△100.0
親会社株主に帰属する 四半期純損失 (△)	△740	-

2023年9月期 通期 連結業績予想 (2022年10月1日～2023年9月30日)

	(百万円)	前期比 (%)
売上高	26,000	△1.8
営業利益	800	△8.1
経常利益	400	△17.7
親会社株主に帰属する 当期純損失 (△)	△600	-

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,097,658	12,623,445
受取手形、売掛金及び契約資産	4,294,825	4,709,021
その他	2,420,195	1,616,861
貸倒引当金	△34,097	△33,441
流動資産合計	18,778,582	18,915,887
固定資産		
有形固定資産	193,060	203,291
無形固定資産		
ソフトウェア	2,058,982	2,127,927
のれん	655,709	586,464
顧客関連資産	912,600	807,300
その他	163,473	192,481
無形固定資産合計	3,790,765	3,714,174
投資その他の資産		
投資有価証券	3,675,499	3,667,426
敷金及び保証金	337,475	330,440
繰延税金資産	2,394,793	2,359,027
その他	106,411	101,049
貸倒引当金	△10,904	△10,904
投資その他の資産合計	6,503,275	6,447,037
固定資産合計	10,487,102	10,364,503
資産合計	29,265,684	29,280,391

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,068,638	1,711,087
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	751,780	751,780
未払金	1,221,218	1,426,468
未払法人税等	19,236	544,998
契約負債	2,356,643	2,150,501
賞与引当金	—	207,138
その他	968,835	795,136
流動負債合計	6,386,353	7,637,111
固定負債		
長期借入金	3,178,010	2,990,905
退職給付に係る負債	1,816,159	1,861,460
その他	7,432	7,345
固定負債合計	5,001,601	4,859,710
負債合計	11,387,955	12,496,822
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,218,512	5,218,512
資本剰余金	6,768,841	6,782,193
利益剰余金	5,224,287	4,193,974
自己株式	△3,257,237	△3,257,237
株主資本合計	13,954,404	12,937,443
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	75,554	115,577
為替換算調整勘定	89,490	56,674
退職給付に係る調整累計額	△53,931	△53,256
その他の包括利益累計額合計	111,114	118,994
新株予約権	110,774	109,133
非支配株主持分	3,701,436	3,617,997
純資産合計	17,877,729	16,783,568
負債純資産合計	29,265,684	29,280,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)
売上高	6,551,430	7,091,062
売上原価	1,895,025	2,538,631
売上総利益	4,656,405	4,552,430
販売費及び一般管理費	4,204,930	4,613,844
営業利益又は営業損失(△)	451,474	△61,414
営業外収益		
受取利息	19	19
為替差益	—	6,811
その他	9,539	17,204
営業外収益合計	9,559	24,035
営業外費用		
支払利息	1,421	3,030
持分法による投資損失	45,118	34,190
その他	19,058	14,131
営業外費用合計	65,598	51,352
経常利益又は経常損失(△)	395,435	△88,730
特別損失		
固定資産除却損	1,348	743
投資有価証券売却損	3,240	13,450
段階取得に係る差損	4,700	—
特別損失合計	9,289	14,194
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	386,146	△102,925
法人税、住民税及び事業税	△21,396	510,494
法人税等調整額	211,446	34,384
法人税等合計	190,049	544,879
四半期純利益又は四半期純損失(△)	196,096	△647,804
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△56,742	△57,587
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	252,838	△590,217

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	196,096	△647,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,018	257
為替換算調整勘定	7,465	△32,517
退職給付に係る調整額	△717	674
持分法適用会社に対する持分相当額	16,173	39,466
その他の包括利益合計	△20,097	7,880
四半期包括利益	175,998	△639,923
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	232,131	△582,336
非支配株主に係る四半期包括利益	△56,133	△57,587

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	4,577,581	868,562	55,834	753,425	6,255,404	—	6,255,404
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	5,844	38,733	—	251,448	296,025	—	296,025
顧客との契約から生 じる収益	4,583,425	907,295	55,834	1,004,874	6,551,430	—	6,551,430
外部顧客への売上高	4,583,425	907,295	55,834	1,004,874	6,551,430	—	6,551,430
セグメント間の内部 売上高又は振替高	56,488	979	—	256,289	313,757	△313,757	—
計	4,639,914	908,275	55,834	1,261,163	6,865,187	△313,757	6,551,430
セグメント利益 又は損失(△)	1,534,829	△336,722	△121,368	△36,098	1,040,640	△589,166	451,474

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△589,166千円には、セグメント間取引消去2,333千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△591,499千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他事業」セグメントにおいて、AI Infinity株式会社の株式を追加取得し、同社を連結子会社化したことにより、当第1四半期連結累計期間にのれんが149,142千円発生しています。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	学校DX 事業	その他 事業	計		
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	5,042,451	995,112	155,485	713,758	6,906,808	—	6,906,808
一定の期間にわたり 移転される財又はサ ービス	10,606	12,877	—	160,770	184,254	—	184,254
顧客との契約から生 じる収益	5,053,057	1,007,989	155,485	874,529	7,091,062	—	7,091,062
外部顧客への売上高	5,053,057	1,007,989	155,485	874,529	7,091,062	—	7,091,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	65,412	3,366	—	315,556	384,335	△384,335	—
計	5,118,469	1,011,355	155,485	1,190,086	7,475,397	△384,335	7,091,062
セグメント利益 又は損失(△)	1,439,217	△172,968	△246,850	△393,372	626,025	△687,439	△61,414

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△687,439千円には、セグメント間取引消去△8,459千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△678,979千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っています。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

連結子会社であるモチベーションワークス株式会社が営む「学校DX事業」について重要性が増したため、内部管理上の区分を見直したことに伴い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「コンテンツ事業」「ヘルスケア事業」「その他事業」の3区分から、「コンテンツ事業」「ヘルスケア事業」「学校DX事業」「その他事業」の4区分に変更しています。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載していません。